

# 授業のユニバーサルデザイン



## 子どもたちの全員参加をめざした 「わかる・できる」授業づくり

これまでも、先輩たちとともにわたしたちがめざしていたことです！そこに、

### 特別支援教育の観点を取り入れて授業を作ること

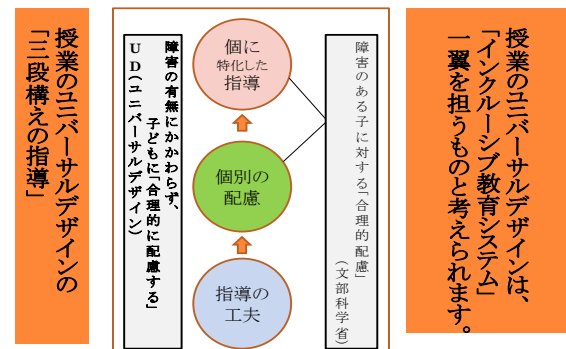
日本の教育の動向として、

#### インクルーシブ教育へ

「インクルーシブ教育」とは・・・

障害のある子・ない子・日本国籍の子・外国にルーツをもつ子など、どんな子どもも包み込み、排除(エクスクルージョン)しないことをめざす教育。つまり、どの子どもも可能な限り包み込んで、一緒に同じ教育をしていこうという考え方。

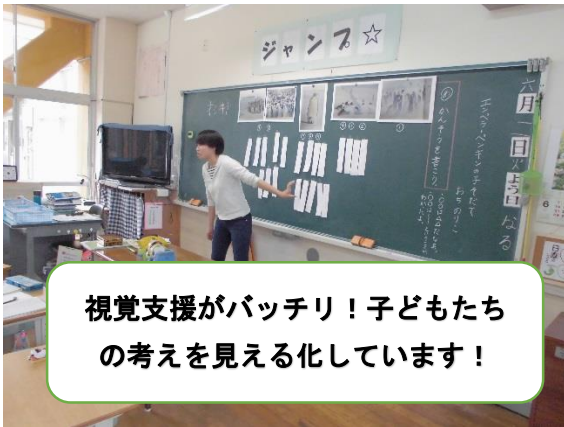
#### 授業のユニバーサルデザインと インクルーシブ教育の関係は？



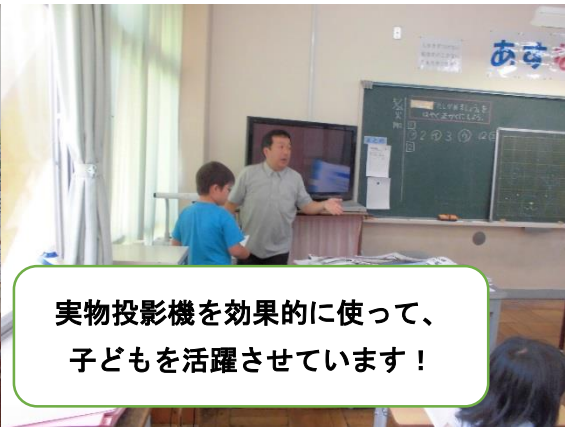
一人一人の子どもへの配慮から見た授業UDのインクルーシブ教育への取り組み

#### 指導の工夫↓

<p>①時間の構造化</p>	<p>○予定を「見える化」する。(今行われていることがわかる工夫をする。)</p> <p>○授業の始めに、授業の流れとめあてを示す。</p> <p>○作業などの時間の区切りがわかる工夫を行う。</p>
<p>②情報伝達の工夫 「視覚化」 (ビジュアル化)</p>	<p>○「視覚化」: 視覚的な手がかりを効果的に活用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚・感覚・動作を入り口にして思考につなげる工夫。</li> <li>・挿絵・写真・動画による理解(ICT機器の活用等)</li> <li>・センテンスカード・図・色などで文章の構造を理解</li> <li>・整理された板書など</li> </ul>
<p>③参加の促進 「共有化」 (シェア)</p>	<p>○「共有化」: 一人の考えを他の子どもに伝え、理解や指導を深める工夫をしたり、話し合い活動を組織化したりすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習による思考の深まり</li> <li>・グループ活動での思考の深まり</li> <li>・意見の再現・解釈</li> <li>・意見の比較検討</li> <li>・子どもの意見の板書など</li> </ul>
<p>④授業内容の構造化 「焦点化」 (シンプル)</p>	<p>○「焦点化」: 授業のねらい(教えたいこと)を焦点化して、指導計画や1時間の学習の進め方を工夫すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業展開の構造化</li> <li>・発問の焦点化</li> <li>・活動の焦点化</li> <li>・教材の焦点化など</li> </ul>



視覚支援がバッチリ！子どもたちの  
の考えを見える化しています！

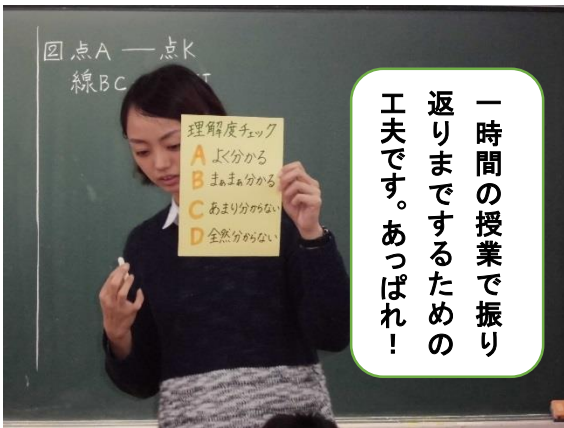


実物投影機を効果的に使って、  
子どもを活躍させています！



### 土居小学校の実践から

子どもたちが思わず忍者の世界に引き込まれていく  
ダイナミックなお城の風景に、ワニに見つからない  
ような泳ぎの修行がどんどん思い浮かびます！



一時間の授業で振り  
返りまでするための  
工夫です。あっぱれ！



できあがりを見せて、子ど  
もの意欲を高めます！